



## 2020年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月10日

上場会社名 高橋カーテンウォール工業株式会社  
 コード番号 1994 URL <https://www.t-cw.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 武治

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 市川 尚

TEL 03-3271-1711

四半期報告書提出予定日 2020年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年12月期第3四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	5,467	54.9	563	71.6	607	70.4	691	47.9
2019年12月期第3四半期	12,110	149.2	1,984	245.7	2,050	219.1	1,327	234.4

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 677百万円 (49.1%) 2019年12月期第3四半期 1,332百万円 (236.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	79.61	
2019年12月期第3四半期	152.02	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第3四半期	12,314	9,410	76.4	1,089.76
2019年12月期	14,569	8,996	61.7	1,029.86

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 9,410百万円 2019年12月期 8,996百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期		15.00		15.00	30.00
2020年12月期		10.00			
2020年12月期(予想)				13.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,250	56.8	650	74.2	700	73.1	780	37.2	89.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期3Q	9,553,011 株	2019年12月期	9,553,011 株
期末自己株式数	2020年12月期3Q	917,815 株	2019年12月期	817,814 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期3Q	8,690,802 株	2019年12月期3Q	8,735,197 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想値と異なる結果となる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページの「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(追加情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響等により、大幅に下押しされておられ厳しい状況で推移しました。緊急事態宣言解除後は国内の経済活動に一部の回復の兆しがみられましたが、依然として感染拡大の懸念があり今後とも内外経済の動向は先行き不透明な状況となっております。

このような状況の下、当建設業界におきましては、さまざまな業種で、仕事量が減少してきました。PCカーテンウォール業界においても、昨年からの受注量、生産量ともに低迷が続いておりますが、当社におきましては、当第3四半期はやや生産量が回復してきており、工場稼働率が上がってきています。

プールを手掛けるアクア事業では、主力である学校やスポーツクラブに加え、PCカーテンウォール事業で関わった都市型高級ホテルのプール等の工事拡大を図っております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当社企業グループの業績は売上高は54億67百万円(前年同四半期比54.9%減)、営業利益5億63百万円(前年同四半期比71.6%減)、経常利益6億7百万円(前年同四半期比70.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益6億91百万円(前年同四半期比47.9%減)となりました。なお、受注高は63億72百万円(前年同四半期比8.8%増)、受注残高は121億11百万円(前連結会計年度末比8.1%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## ①PCカーテンウォール事業

昨年からの受注量、生産量ともに低迷が続いており、比例して売上が大幅に落ち込みました。一方、顧客の製品形状変更、追加依頼などに真摯に対応して、追加売上を獲得し、また工場を中心に懸命のコストダウンを図り、収益を確保しています。当セグメントの売上高は50億円(前年同四半期比57.5%減)、セグメント利益は5億30百万円(前年同四半期比73.3%減)となりました。なお、売上のトレンドに季節性はありません。

## ②アクア事業

学校関連、フィットネスクラブ及びホテルのプールの新設・改修が順調に進んだため、当セグメントの売上高は4億16百万円(前年同四半期比37.9%増)、セグメント利益は33百万円(前年同四半期比110.9%増)となりました。

## ③その他

その他は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と建設事業(不動産賃貸事業を含む)であります。

当セグメントの売上高は50百万円(前年同四半期比23.6%増)、セグメント損失は0百万円(前年同四半期は16百万円のセグメント損失)となりました。

なお、新型コロナウイルス感染症が建設業界に本格的に影響を与える時期は、飲食やインバウンド関連に比べて数年遅くなることが予想されており、現時点では当社の業績にはさほど影響を与えておりません。しかし、長期的には景気の低迷が建設需要を下押しすることはほぼ確実と認識しております。また、東京五輪が1年延期されたことで、五輪後に計画されていたプロジェクトの始動が遅れる可能性があること、テレワーク普及に伴いオフィスビル需要の低下の可能性があることが懸念されております。これらはカーテンウォール業界、プール業界双方にマイナスの影響があることが予想されております。

マイナス要因は多々ありますが、安定した財務基盤のある当社は、従来と変わらず着実に人員強化を進め、景気が再び浮揚する際は、顧客からのリクエストにさらに幅広く対応できるような態勢をつくれるように努力を重ねる所存であります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は123億14百万円と前連結会計年度末と比較して22億54百万円の減少となりました。これは主に、現金預金が10億38百万円、電子記録債権が10億5百万円減少したことによるものです。

②負債の状況

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は29億4百万円と前連結会計年度末と比較して26億69百万円の減少となりました。これは主に、未払法人税等が8億80百万円、流動負債のその他が5億9百万円、長期借入金が1億88百万円、役員退職慰労引当金が6億73百万円減少したことによるものです。

③純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は94億10百万円と前連結会計年度末と比較して4億14百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により6億91百万円増加したことと、配当金の支払いにより2億17百万円減少したことにより4億74百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年11月4日に公表いたしました連結業績予想と変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	2,946,595	1,907,920
受取手形・完成工事未収入金等	1,491,222	913,162
電子記録債権	1,696,136	691,120
未成工事支出金	3,055,588	3,379,884
その他のたな卸資産	70,640	68,412
その他	59,881	71,146
流動資産合計	9,320,065	7,031,646
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	653,439	649,471
土地	1,783,101	1,783,101
その他(純額)	644,301	601,948
有形固定資産合計	3,080,842	3,034,521
無形固定資産	42,078	37,104
投資その他の資産		
投資有価証券	222,552	201,874
保険積立金	949,176	1,022,565
投資不動産(純額)	118,624	91,349
退職給付に係る資産	114,016	107,662
その他	738,990	804,683
貸倒引当金	△16,567	△16,567
投資その他の資産合計	2,126,792	2,211,568
固定資産合計	5,249,713	5,283,194
資産合計	14,569,779	12,314,841
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	466,576	438,737
電子記録債務	368,532	290,821
短期借入金	667,000	547,000
1年内償還予定の社債	60,000	-
未払法人税等	883,174	2,226
未成工事受入金	779,921	661,722
賞与引当金	53,044	116,535
その他の引当金	92,360	17,530
その他	620,312	110,662
流動負債合計	3,990,921	2,185,234
固定負債		
長期借入金	630,000	442,000
役員退職慰労引当金	869,525	195,993
その他	83,326	81,358
固定負債合計	1,582,851	719,351
負債合計	5,573,773	2,904,586

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,283,363	3,283,363
利益剰余金	5,803,679	6,277,736
自己株式	△238,430	△283,848
株主資本合計	8,948,612	9,377,251
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,393	33,003
その他の包括利益累計額合計	47,393	33,003
純資産合計	8,996,005	9,410,254
負債純資産合計	14,569,779	12,314,841

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)
売上高		
完成工事高	12,110,829	5,467,725
売上原価		
完成工事原価	9,554,653	4,307,441
売上総利益		
完成工事総利益	2,556,175	1,160,283
販売費及び一般管理費	571,712	596,415
営業利益	1,984,463	563,867
営業外収益		
受取利息	339	334
受取配当金	1,948	12,777
投資有価証券売却益	6,651	-
投資不動産賃貸料	4,463	9,384
受取家賃	10,281	8,644
鉄屑売却収入	37,028	17,140
その他	16,910	7,781
営業外収益合計	77,622	56,063
営業外費用		
支払利息	6,588	5,259
不動産賃貸費用	2,187	4,827
その他	3,097	2,195
営業外費用合計	11,873	12,282
経常利益	2,050,211	607,648
特別利益		
固定資産売却益	799	1,771
移転補償金	-	35,642
特別利益合計	799	37,413
特別損失		
固定資産除却損	1,847	9,479
特別損失合計	1,847	9,479
税金等調整前四半期純利益	2,049,164	635,582
法人税、住民税及び事業税	813,229	5,560
法人税等調整額	△92,017	△61,871
法人税等合計	721,212	△56,310
四半期純利益	1,327,951	691,893
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,327,951	691,893



## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	1,327,951	691,893
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,171	△14,390
その他の包括利益合計	4,171	△14,390
四半期包括利益	1,332,123	677,503
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,332,123	677,503

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	PCカーテン ウォール事業	アクア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,767,892	301,798	12,069,690	41,138	12,110,829	—	12,110,829
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	11,767,892	301,798	12,069,690	41,138	12,110,829	—	12,110,829
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	1,984,766	16,012	2,000,779	△16,316	1,984,463	—	1,984,463

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と建設事業(不動産賃貸事業を含む)であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結結果計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	PCカーテン ウォール事業	アクア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,000,692	416,165	5,416,857	50,867	5,467,725	—	5,467,725
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	5,000,692	416,165	5,416,857	50,867	5,467,725	—	5,467,725
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	530,265	33,763	564,028	△161	563,867	—	563,867

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と建設事業(不動産賃貸事業を含む)であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

当社企業グループは、固定資産の減損会計や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りについては、連結財務諸表作成時において入手可能な情報に基づき実施しております。

新型コロナウイルス感染症拡大が当社企業グループの業績に与える影響は軽微であり、当第3四半期以降も重要な影響がないという仮定に基づき会計上の見積りを行っております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響は、不確定要素が多く、今後の財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。